

開会の日時、場所

年月日 令和5年3月16日（木曜日）
開 会 午前10時1分
散 会 午前10時30分
場 所 第7委員会室

本日の委員会に付した事件

1 総括質疑の方法等について

出席委員

委員長	比 嘉 瑞 己		
副委員長	石 原 朝 子		
委 員	下 地 康 教	仲 村 家 治	
	西 銘 啓史郎	大 浜 一 郎	
	花 城 大 輔	中 川 京 貴	
	上 里 善 清	照 屋 大 河	
	比 嘉 京 子	島 袋 恵 祐	
	瀬 長 美佐雄	國 仲 昌 二	
	仲 村 未 央	平 良 昭 一	
	仲宗根 悟	上 原 章	
	當 間 盛 夫		

○比嘉瑞己委員長 ただいまから、予算特別委員会を開会いたします。

去る3月15日に、知事から甲第37号議案令和5年度沖縄県一般会計補正予算第1号が提出されました。

追加議案の提出に伴い、予算特別委員会の日程に変更がありますので、事務局に今後の追加補正の審査等について説明させます。

休憩いたします。

（休憩中に、事務局から追加議案が本委員会に付託される予定がある旨説明し、審査日程、質疑方法等について協議した結果、案のとおり行うことで意見の一致を見た。）

○比嘉瑞己委員長 再開いたします。

お諮りいたします。

補正予算に係る追加議案の審査については、休憩中に御協議いたしましたとおり決定することに、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○比嘉瑞己委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

それでは、総括質疑の方法等についてを議題といたします。

各常任委員会からの予算調査報告書につきましては、予算議案の審査等に関する基本的事項に基づき、昨日、タブレットに掲載して予算特別委員に配付してあります。

休憩いたします。

（休憩中に、各常任委員会から報告のあった総括質疑等について事務局より説明。）

○比嘉瑞己委員長 再開いたします。

理事会による協議のため、暫時休憩いたします。

午前10時7分休憩

午前10時27分再開

○比嘉瑞己委員長 再開いたします。

理事会の協議の結果を御報告いたします。

総括質疑の実施方法等については、慎重に協議した結果、次のとおりとなりました。

手元のタブレットに案1が表示されていると思います。

1、質疑項目は総括質疑の全てとする。当該質疑事項に対し出席を求める者は知事とする。2、質疑方法及び時間について、委員長からの代表質疑は行いません。各委員からの質疑を一問一答方式といたします。会派の割当ての時間ですが、沖縄・自民党14分、ていーだ平和ネット6分、日本共産党沖縄県議団6分、立憲おきなわ4分、おきなわ南風4分、公明党3分、無所属の会3分となります。3、会派を超えての質疑の譲渡については、できません。4、質疑順序は、多数会派、今回沖縄・自民党からとなります。5、重複する質疑を避けること。6、質疑の通告をお願いいたします。通告は、様式3により質疑の様式は可能な限り具体的に記載をお願いいたします。7、質疑の通告期限ですが、明日3月17日金曜日の予算特別委員会終了後1時間以内といたします。

以上、御報告でした。

お諮りいたします。

総括質疑の実施方法等については、理事会から報告のあった協議結果のとおり決定することに、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○比嘉瑞己委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

総括質疑の通告締切は、明3月17日予算特別委員会終了後1時間以内となっております。

総括質疑を行う委員は、様式3により政務調査課に通告するようお願いいたします。

なお、3月20日に行われます沖縄県工業連合会の参考人招致の質疑者の報告は本日までとなっておりますので御留意をお願いいたします。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

次回は、明3月17日金曜日本会議終了後に委員会を開きます。

委員の皆さん、大変御苦労さまでした。

本日の委員会は、これをもって散会いたします。

予算特別委員会運営要領

この要領は、「予算議案の審査等に関する基本的事項（常任委員会に対する調査依頼について）」（令和4年2月21日議会運営委員会決定）に定めるもののほか、予算特別委員会の運営及び審査等に関し必要な事項を下記のとおり定めることにより、予算特別委員会の円滑な運営に資するものとする。

記

1 予算特別委員会の開催場所について

予算特別委員会は、第7委員会室で行うものとする。

2 委員席の配置について

委員席は別紙1のとおりとする。

3 審査日程について

審査日程は別紙2のとおりとする。ただし、審査の都合により必要があるときは、予算特別委員会に諮り変更することができる。

4 各常任委員会に対する調査依頼について

- (1) 当初予算の審査は、予算特別委員会において概要説明を聴取し、大局的な観点からの質疑等を行った後、様式1により所管の常任委員会に調査を依頼するものとする。
- (2) 常任委員会は調査終了後、様式2により予算調査報告書（以下「調査報告書」という。）を予算特別委員会に提出するものとする。
- (3) 予算議案の審査等に関する基本的事項5（4）に係る予算特別委員への調査報告書の配付については、タブレットに格納するものとする。

5 説明員について

- (1) 補正予算の概要説明は総務部長及び病院事業局長が行うものとする。
- (2) 当初予算の概要説明は総務部長が行い、室部局長（会計管理者及び各種委員会事務局長を除く）出席の上、大局的な観点から質疑を行うものとする。

6 質疑の要領について

- (1) 補正予算
 - ① 質疑の時間は委員1人10分とする。
 - ② 各委員の質疑の時間は出席委員間で相互に譲渡することができるものとする。その場合、譲渡をする委員はあらかじめ委員長に譲渡する時間及び譲渡をされる委員について報告する。また、譲渡をする委員は譲渡をされた委員が質疑する間は着席しなければならないものとする。
 - ③ 質疑の時間には答弁時間は含まないものとする。
 - ④ 質疑時間終了5分前に1回、1分前に2回及び終了時に5回それぞれ電子音等で報知する。
 - ⑤ 質疑は一問一答方式により、自席に着席したままで行うものとする。
 - ⑥ 質疑の順序は多数会派順とする。
- (2) 当初予算の概要説明
 - ① 質疑は会派代表の委員1人が行うものとする。なお、質疑を行う会派は、委員名を3月6日（月）の補正予算審査日の正午までに、政務調査課に報告するものとする。

- ② 質疑の時間は7分とする。
- ③ 質疑は大局的な観点から、予算編成の基本的な考え方、室部局の予算体系などについて行うものとし、資料は、「沖縄県一般会計予算（案）の概要」、「当初予算（案）施策概要」、「当初予算（案）説明資料」及び「当初予算（案）概要（部局別）」などを使用する。
- ④ その他の質疑の要領については、上記(1)の規定を準用する。

7 総括質疑について

- (1) 総括質疑の通告締切日時は、3月17日（金）の予算特別委員会終了後1時間以内とし、様式3により政務調査課に提出するものとする。
- (2) 総括質疑の項目、方法、時間及び順序等は、委員会に諮って決定するものとする。

8 理事会について

- (1) 理事会は、委員長、副委員長及び理事5人をもって構成する。
- (2) 理事は、委員会に諮って指名する。
- (3) 理事は、委員会の運営について委員長に協力し、委員間の連絡調整に当たる。
- (4) 理事会は、総括質疑の項目、方法、時間及び順序等について協議を行うものとする。

雑 則

以上のほか、委員会の運営について必要な事項は、その都度委員会に諮って定めるものとする。

委員席の配置

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

(録音・計時)				補 助
議 会 事 務 局				答 弁 席

議 会 事 務 局
比 嘉 瑞 己 委 員 長

説	明	員
---	---	---

	照屋大河委員	上里善清委員
--	--------	--------

仲村家治委員	石原朝子委員	下地康教委員
--------	--------	--------

瀬長美佐雄委員	島袋恵祐委員	比嘉京子委員
---------	--------	--------

花城大輔委員	大浜一郎委員	西銘啓史郎委員
--------	--------	---------

仲村未央委員	國仲昌二委員	
--------	--------	--

當間盛夫委員	上原章委員	中川京貴委員
--------	-------	--------

	仲宗根悟委員	平良昭一委員
--	--------	--------

--	--	--

--	--	--

--	--	--

予算議案の審査日程

年月日	曜日	時 間	事 項	関係室部局等
令和 5 年 3 月 2 日	木	本会議及び 各委員会 終了後	予算特別委員会 ・委員長及び副委員長の互選 ・委員会運営要領の件 ・理事の選任	
3 月 6 日	月	午前10時	予算特別委員会 ・令和 4 年度補正予算審査	知 事 公 室 総 務 部 企 画 部 環 境 部 子 ども 生 活 福 祉 部 保 健 医 療 部 農 林 水 産 部 商 工 労 働 部 文 化 観 光 ス ポ ー ツ 部 土 木 建 築 部 病 院 事 業 局 教 育 委 員 会 公 安 委 員 会
3 月 7 日	火	常任委員会 終了後	予算特別委員会 ・令和 4 年度補正予算採決	
3 月 9 日	木	午前10時	本会議 ・補正予算委員長報告・採決	関 係 室 部 局
		本 会 議 終 了 後	予算特別委員会 ・令和 5 年度一般会計・特別会計予算及び企業会計予算 (概要説明及び質疑) ・各常任委員会に対する調査依頼の件(当初予算)	
3 月 10 日	金	午前10時	各常任委員会 ・所管事務に係る予算議案の調査	関 係 室 部 局
3 月 13 日	月	午前10時	各常任委員会 ・所管事務に係る予算議案の調査 ・予算調査報告書記載内容等についての協議	関 係 室 部 局
3 月 14 日	火	午後1時30分	予算特別委員会 ・参考人招致	沖 縄 電 力 株 式 会 社
3 月 15 日	水		・予算特別委員への予算調査報告書の配付	報 告 書 配 付 (正 午)
3 月 16 日	木	午前10時	予算特別委員会 ・総括質疑の方法等について協議	
3 月 17 日	金	本 会 議 終 了 後	予算特別委員会 ・令和 5 年度補正予算審査	関 係 室 部 局
			・総括質疑通告書の提出	総 括 質 疑 通 告 書 締 切 (委員会終了後1時 間以内)
3 月 20 日	月	午前10時	予算特別委員会 ・総括質疑	知 事 等 関 係 室 部 局
		午後1時30分	予算特別委員会 ・参考人招致	沖 縄 県 工 業 連 合 会
3 月 27 日	月	午前10時	予算特別委員会 ・令和 5 年度当初予算採決 ・令和 5 年度補正予算採決	

様式 1

令和 年 月 日

〇〇〇〇委員長
〇 〇 〇 〇 殿

予算特別委員長
〇 〇 〇 〇

予算議案の調査依頼について

本委員会に付託された予算議案のうち、下記について貴委員会において調査を行っていただくようお願いいたします。

なお、調査結果につきましては、月 日までに御報告くださいますようお願い申し上げます。

記

(例)

甲第〇号議案 令和〇年度沖縄県一般会計予算（〇〇〇〇委員会所管分）

甲第〇号議案 令和〇年度沖縄県〇〇〇〇〇〇特別会計予算

甲第〇号議案 令和〇年度沖縄県〇〇〇〇〇〇事業会計予算

様式 2

令和 年 月 日

予算特別委員長
〇 〇 〇 〇 殿

〇〇〇〇委員長
〇 〇 〇 〇

予算調査報告書

月 日に依頼のあった予算議案の調査について、委員会における調査の結果を下記のとおり報告します。

記

1 委員会における審査概要

別紙議事録（速報版）のとおり

2 知事等に対し改めて質疑が必要とされる事項（総括質疑）

別紙1のとおり

3 その他委員から特に申出のあった事項

別紙2のとおり

※（特になし）

様式 3

令和 年 月 日 午前・午後 時 分 受付

質 疑 発 言 通 告

質
疑
の
要
旨

上記により質疑したいので、予算特別委員会運営要領の規定により通告します。

令和 年 月 日

予算特別委員

印

予算特別委員長 殿

※ 記載例は、議会運営委員会決定事項集「17 発言通告書の記載方法等について」の記載例を御覧ください

予算議案の審査等に関する基本的事項 (常任委員会に対する調査依頼について)

予算議案の審査については、その効率的で充実した審査に資することを目的とし、各常任委員会において予算特別委員会から調査依頼を受け、専門的な立場から所管事務に係る予算事項を調査する方式としたところである。こうした予算議案の審査・調査に当たっては、下記の基本的事項を定めることにより、予算特別委員会及び各常任委員会の円滑な運営に資するものとする。

記

1 予算議案の審査について

補正予算の審査については予算特別委員会において行うこととし、当初予算の審査については、概要説明を予算特別委員会で行った後、室部局に係る事項について所管の常任委員会に依頼して調査を行うものとする。

2 審査日程について

予算議案の審査日程はおおむね別紙1のとおりとし、具体的な予算特別委員会の審査日程は同委員会において決定するものとする。

3 調査依頼事項について

- (1) 各常任委員会に対する調査依頼事項は、沖縄県議会委員会条例第2条に規定する所管事務に係る予算事項とする。
- (2) 調査依頼に関する様式は別に定めるものとする。

4 各常任委員会における調査について

- (1) 質疑の時間は、各審査日委員1人10分とする。
- (2) 各委員の質疑の時間は、出席委員間で相互に譲渡することができるものとする。その場合、譲渡する委員はあらかじめ委員長に譲渡する日、時間及び譲渡をされる委員について報告するものとする。また、譲渡する委員は譲渡をされた委員が質疑する間は着席しなければならない。
- (3) 質疑の時間には、答弁時間は含まないものとする。
- (4) 質疑時間終了5分前に1回、1分前に2回及び終了時に5回それぞれ電子音等で報知する。
- (5) 質疑の順序については多数会派順とする。なお、2日目は第2多数会派から質疑を行い、第1多数会派は最後に行うものとする。
- (6) 各常任委員会での採決は行わないものとする。

5 予算調査報告書の作成及び配付について

- (1) 予算調査報告書(以下「調査報告書」という。)は、各常任委員会での協議に基づき各常任委員長が作成するものとする。この場合、各常任委員会での協議を省略して調査報告書の作成を各常任委員長に一任することができるものとする。
- (2) 調査報告書に記載する事項は、各常任委員会における審査概要、予算特別委員会において知事等に対し改めて質疑が必要とされる事項(以下「総括質疑」という。)及びその他委員から特に申出のあった事項とする。
- (3) 総括質疑について

ア 各常任委員会における質疑において、総括質疑を提起しようとする委員は、その該当事項を総括質疑とする旨を発言するものとする。

イ 各常任委員会における質疑終了後、総括質疑を提起しようとする委員がその理由等を説明した後、予算特別委員会における総括質疑についての意見交換や当該事項の整理を行った上で、予算特別委員会に報告するものとする。

ウ 各常任委員会における上記イの意見交換や整理の中において、総括質疑として報告することについて反対の意見が述べられた場合には、予算特別委員会に報告する際にその意見も併せて報告するものとする。

(4) 調査報告書は、予算特別委員会において総括質疑の方法等について協議する日の正午までに予算特別委員に配付するものとする。

(5) 調査報告書の様式は別に定めるものとする。

6 総括質疑について

(1) 審査の最終日に知事等の出席を求め、当初予算について大局的な観点から総括質疑を行うものとする。

(2) 限られた時間の中で県民にとって有益な議論となるよう、質疑項目の絞り込みを行うものとする。

(3) 総括質疑の時間は、2時間（午前中）をめどに終了するものとする。

(4) 質疑を行う委員は、あらかじめ文書によりその内容を通告するものとする。

7 質疑の時間及び方法等について

予算特別委員会における質疑の時間及び方法その他必要な事項は同委員会において決定するものとする。

8 理事会について

予算特別委員会の円滑な運営等を図るための調整、協議等を行うため同委員会に理事会を設置するものとする。

予算議案の審査日程

年月日	委員会等	時間	事項	関係室部局等
2月 定例会 会期中 (1日目)	予算特別委員会	本会議及 び各委員 会終了後	○委員長及び副委員長の互選 ○委員会運営要領の件 ○理事の選任 ○各常任委員会に対する調査依頼の件(当初予算)	
以降 開会中 (2日目)	予算特別委員会	午前10時	○令和元年度補正予算審査	関係室部局
(3日目)	予算特別委員会	各常任 委員会 終了後	○令和元年度補正予算採決	
(4日目)			○議案整理日	
(5日目)	本会議	午前10時	○補正予算委員長報告・採決	
	予算特別委員会	本会議 終了後	○令和2年度一般会計・特別会計予算及び企業会計予算(概要説明)	総務部 関係室部局
(6日目)	常任委員会	午前10時	○所管事務に係る予算議案の調査	関係室部局
(7日目)	常任委員会	午前10時	○所管事務に係る予算議案の調査 ○予算調査報告書記載内容等についての協議	関係室部局
(8日目)			○予算調査報告書整理日	
(9日目)			○予算調査報告書整理日	
(10日目)	予算特別委員会	午後	○予算特別委員への予算調査報告書の配付	報告書配付時刻： 正午
			○総括質疑の方法等についての協議	
(11日目)			○総括質疑通告書の提出	総括質疑通告締切 (正午)
(12日目)	予算特別委員会	午前10時	○総括質疑	知事等 関係室部局
	常任委員会			
	常任委員会			
	常任委員会			
(13日目)	予算特別委員会	午前10時	○採決	

沖縄県議会委員会条例第 27 条第 1 項の規定によりここに署名する。

委員 長 比 嘉 瑞 己